

## AI導入ご相談フォーム

 公開時匿名希望

会社名（漢字） ※必須

札幌株式会社

会社名（ふりがな） ※必須

さっぽろかぶしきがいしゃ

部署名

経理部

担当者（漢字：フルネーム） ※必須

山田太郎

担当者（ひらがな：フルネーム） ※必須

やまだたろう

連絡先電話番号 ※必須

011-000-0000

連絡先メールアドレス ※必須

yamada.taro@exsample.com

連絡先メールアドレス（再入力） ※必須

yamada.taro@exsample.com

以下の設問に、できるだけ具体的にお答えください。

## 1. 御社の抱える課題について ※必須

AIを導入したいと考える原因となった業務上の課題はどのようなことですか？

毎月数千枚の領収書や契約書を顧客ごとに仕分けした上でスキャナで取り込んでいる。手間がかかりすぎている。  
具体的には5人の事務員がそのために毎日8時間勤務している。契約書に関しては電子コントラクトを推進しているが、顧客先の事情に左右されるためなかなか進んでいない。顧客ごとの対応方法が明文化されていないため属人化も進んでいる。  
過去にXX社のOCRシステムを使ってシステム化を試みたことがあったが、精度が出なかったため頓挫した経緯がある。XX社のOCRシステムは領収書の罫線によって読み取りが阻害されるため精度がでなかった。契約書の処理が事務員の8割の作業を絡めているため、契約書をまずは処理できるようにしたい。

## 2. 実現するAIについて ※必須

AIの利用イメージについて、想定する業務の流れを含めてご説明ください。

郵送されてきた契約書、領収書のスキャナで取り込む。取り込むと共有フォルダにPDFが転送されるので、そのPDFの画像から顧客をAIによって識別し、自動的に顧客ごとのフォルダにPDFをコピーする。また社内の顧客管理システムに領収書の情報を一部転記する必要があるため、領収書から企業名、金額、項目をそれぞれ抽出した上でCSVとしてPDFと同じフォルダに保存する。定期的にCSVを取り込むプログラムを起動し、社内システムに転送する。

## 3. 必要なデータについて ※必須

AIの実現には、大量の教師データが必要となる場合があります。

AIの機能が御社独自のデータに依存するものの場合、そのデータの内容はどのようなものですか。

(データの意味、形式、数量、媒体など)

領収書のスキャナで取り込んだ際の画像データが顧客ごとのフォルダにPDFとして社内の共有フォルダに保存されている。契約書も画像データがPDFとしてERP上に保存されている。領収書は現在は100万枚ほど保存されており、契約書は20万枚ほど保存されている。

## 4. その他条件について

## 希望スケジュール

可用性検証期間

3カ月

システム導入時期

2021年9月

## 概定予算

可用性検証

300万円

システム開発

1000万円

 Sapporo AI Lab.関係者ならびに会員企業に以上の情報を共有することに同意します。

送信